

- 1 **60°** 10点
対頂角は常に等しいので、 $\angle b = \angle a = 60^\circ$
-
- 2 **45°** 10点
平行線の同位角は等しいので、 $\angle d = \angle c = 45^\circ$
-
- 3 **70°** 10点
平行線の錯角は等しいので、 $\angle f = \angle e = 70^\circ$
-
- 4 **60°** 10点
一直線上の角の和は 180° なので、 $\angle x = 180^\circ - 120^\circ = 60^\circ$
-
- 5 **2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい** 10点
2つの辺とその間の角が等しいので、2辺挟角相等の条件により合同である。
-
- 6 **3組の辺がそれぞれ等しい** 10点
3つの辺がそれぞれ等しいので、3辺相等の条件により合同である。
-
- 7 **1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しい** 10点
1つの辺とその両端の角が等しいので、1辺両端角相等の条件により合同である。
-
- 8 **イ. 同位角は等しい** 10点
平行線 l と m に対して、同位角は等しいという性質があります。
-
- 9 **エ. 2角相等 (AA)** 10点
三角形の合同条件は3つです：3組の辺がそれぞれ等しい、2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいです。2角相等のみでは合同を判定できません。
-
- 10 **ア. 対頂角は常に等しい** 10点
対頂角は2本の直線が交わるときにできる向かい合った角で、常に等しいという性質があります。
-